



2021



春がやってきました。新しい出会いもある季節ですね。本との出会いを求めて、ぜひ図書館に来てみてください！

## 今回のおすすめ本は・・・



### 『マチルダは小さな大天才』 ロアルド・ダール／著 評論社

マチルダは3才で字が読めるようになり、『秘密の花園』を4才で読みこなす少女です。しかし、両親はマチルダの才能に気づいていません。おまけに小学校の校長はマチルダを悪ガキ扱いです。

でも、マチルダの周りには彼女を理解してくれる担任のミス・ハニーや仲間たちが現れます。

小さな女の子が天才的な頭脳を使って、仲間とともにいじわるな大人たちに立ち向かい、やっつける姿は爽快です。

### 『洪水の前 自由の物語』 赤川 次郎／著 汐文社

『愛しい友へ……』は、町唯一の工場が閉鎖され、町の人たちがどんどん離れていくなかで、親友だったあゆみが去った町で過ごす典子と彼女の間で起こった不思議な現象とミステリアスな結末。切なくなる作品です。

表題の『洪水の前』は、戦争が始まる時というのは、こんなものかも知れないという思いがよぎる作品です。

現代社会が抱える問題を考えさせるような物語が詰まった、ミステリーの短編集です。





吉野北高校 山本 渚  
図書委員会

よしの 『吉野北高校図書委員会』 やまもと なぎさ 山本 渚／著 KADOKAWA

高校の図書委員会を舞台とした、ほのぼのとした物語です。  
登場人物それぞれが、恋したり、悩んだり、憧れたりして、変わらないと思っていた関係が少しずつ変わっていきます。一人ひとりの思いや、苦悩を知ることで、共感できる人物に出会えるかもしれません。

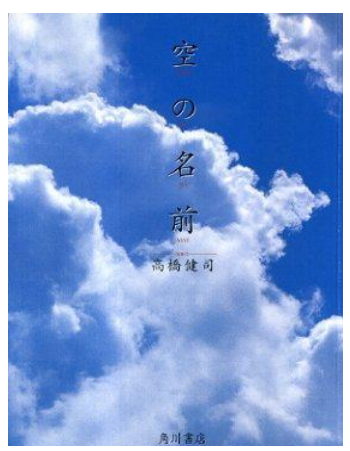
『歴史を味方にしよう』 どうもん ふゆじ 童門 冬二／著 PHP 研究所

歴史に興味のない人もこの本を読めば、歴史の楽しさがわかるかも！  
例えば、織田信長は一般的に粗暴なイメージがありますが、文化を重んじ、経済を発展させたという一面もあります。  
有名な歴史上の人物の意外な一面を知ることによって、自分を見つめ直したり、将来を考えたりするきっかけになります。

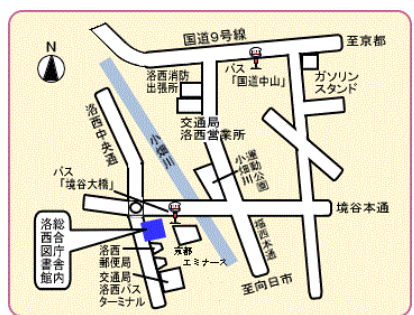


『空の名前』 たかはし けんじ 高橋 健司／写真・文 角川書店

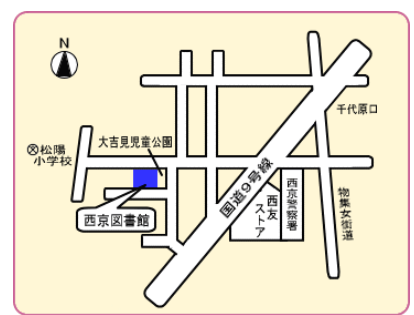
疾風雲、徒雲、栗花落、天泣……雲や雨にも種類があって、それぞれに名前が付けられているのです。  
何気なく見ていた雲や風景につけられた名前の由来や、名付けに込められた先人の思い、美的感覚を知ることによって、今、目にしている世界がより鮮やかに見えてきます。



京都市洛西図書館  
〒610-1143  
京都市西京区大原野東境谷町2丁目 1-2 洛西総合庁舎1階  
電話(075)333-0577 FAX(075)333-0887



京都市西京図書館  
〒615-8236  
京都市西京区山田大吉見町20-3  
電話(075)392-5558 FAX(075)381-8901



新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、当面の間、平日は午後7時までの開館となります。

■開館時間 平日 : 午前9時30分～午後7時30分  
土曜・日曜・祝日 : 午前9時30分～午後5時  
■休館日 毎週火曜日(火曜日が祝日の時はその翌平日)  
年末・年始

■開館時間 平日 : 午前9時30分～午後7時30分  
土曜・日曜・祝日 : 午前9時30分～午後5時  
■休館日 毎週火曜日(火曜日が祝日の時はその翌平日)  
年末・年始